

SGU 四国ゴルフ連盟会報

No.45

発行 / 四国ゴルフ連盟

松山市福音寺町55-1

〒790-0921

TEL 089-990-3260

FAX 089-990-3261

平成23年度定時総会並びに平成24年度理事会を開催

～平成24年度事業計画・予算案、役員改選など承認～

【総会の概要】

去る2月16日(木)、松山全日空ホテルにおいて、加盟倶楽部から34名が出席し(委任状を含め60倶楽部の参加)、平成23年度四国ゴルフ連盟定時総会が開催された。

会議では大亀会長から冒頭「去年は2つの新競技を立ち上げたが、特に女子インター親善競技には多くの倶楽部に参加いただき、盛会であった。今年はジュニアの育成・強化を目指して、新組織や新競技を立ち上げたい」との挨拶があり、議事案件を審議した結果、全ての議案が原案どおり承認された。

～承認・議決事項～

◆平成23年度事業報告・収支決算

◆平成24年度事業計画・収支予算

(新規ジュニア競技の立ち上げを含む)

◆理事退任に伴う後任人事

高知県野中理事の後任	清水康文氏(土佐CC理事)
徳島県坂崎理事の後任	富田和典氏(鳴門CC理事長)



【理事会の概要】

去る1月26日に第1回、2月16日に第2回の理事会を開催。

～主な承認・議決事項～

◆ジュニア委員会の定数変更

JGAナショナルチームに通じる四国地区の強化選手、準強化選手制度の効果的な推進方策を検討するため、ジュニア委員会内に発掘育成部会を設けることにし、そのためにジュニア委員の定数を現行の10名から16名に増員。

◆平成24年度JGA分科委員会委員候補者の推薦

総務委員会 委員	森 惟 夫	鮎滝カントリークラブ
税対策等部会	島 内 保 夫	徳島カントリー倶楽部
規則委員会 委員	山 中 健太郎	新居浜カントリー倶楽部
競技委員会 副委員長	山 中 健太郎	新居浜カントリー倶楽部
男子委員	能 仁 勇	タカガワ西徳島ゴルフ倶楽部
女子委員	武 井 峰 子	こんびらレイクサイドゴルフ倶楽部
女子委員	坂 本 晴 美	スカイ・ベイゴルフクラブ
ハンディーキャップ委員会 副委員長	真 鍋 彦 介	エリエールゴルフクラブ
コースレーティング担当	佐 井 重 久	グリーンフィールドゴルフ倶楽部
競技者育成強化本部 普及部会	大 塚 澄 男	高松グランドカントリークラブ
発掘育成部会	二 宮 薫	今治カントリー倶楽部

四国ゴルフ連盟 2012(平成24)年度 主催競技日程

開催日			競技の名称	開催場所	
月	日	曜			
5	16～17	水～木	第32回四国女子アマチュアゴルフ選手権競技	土佐山田ゴルフ倶楽部	高知
6	6～9	水～土	第32回四国アマチュアゴルフ選手権競技	鮎滝カントリークラブ	香川
7	16	月	第7回四国小学生ゴルフ大会	新居浜カントリー倶楽部	愛媛
	26～27	木～金	第32回四国ジュニアゴルフ選手権競技	北条カントリー倶楽部	愛媛
8	2	木	第32回四国クラブ対抗決勝競技	愛媛ゴルフ倶楽部	愛媛
	30～31	木～金	第42回中四国オープンゴルフ選手権競技	白竜湖カントリークラブ	広島
9	12～13	水～木	第32回四国シニアゴルフ選手権競技	新居浜カントリー倶楽部	愛媛
	19～20	水～木	第2回四国ミッドアマチュアゴルフ選手権競技	エリエールゴルフクラブ	香川
	25～26	火～水	第19回四国ミッドシニアゴルフ選手権競技	グランディ鳴門ゴルフクラブ36	徳島
	25～26	火～水	第19回四国グランドシニアゴルフ選手権競技	グランディ鳴門ゴルフクラブ36	徳島
10	18	木	第3回四国アンダーハンディキャップゴルフ競技	道後ゴルフ倶楽部	愛媛
	30	火	第2回四国女子インタークラブ親善競技	松山ゴルフ倶楽部	愛媛
未	未	未	新規ジュニア競技開催予定	未	未

シード選手一覧 =2012(平成24)年度四国ゴルフ連盟主催競技=

四国アマチュアゴルフ選手権競技

- 〈徳島県〉手束将之、※亀代順哉(以上徳島C)、尾崎竜二(阿南C)、山岡成稔(徳島C)、赤木和彦(東徳島G)、吉成弘和(鳴門C)
 〈高知県〉傍士 基、早藤将太(以上スカイベイG)、佐竹将吾(高南C)、中川桂輔、中川将太、井上貴弘(以上スカイベイG)
 〈香川県〉※原 敏之(新琴南G)、弓削淳詩、池上憲士郎(以上詫間C)、奥野功貴(高松グランドC)、谷本伊知郎(屋島C)、
 真部幸一郎(志度C)、多田知広(アルファ津田C)、島村 修(琴平C)、橋本龍位(新琴南G)、三木一外(こんびらLG)、
 栗永 遼(詫間C)
 〈愛媛県〉二宮愼堂(今治C)、村上 敦(サンセットヒルズC)、崎山俊紀(今治C)、小川貴大(サンセットヒルズC)、吉田 心(新伊予G)、
 森内信隆(松山シーサイドC)、二宮英二(今治C)、続木 仁、西 勝弘(以上新居浜C)、福岡浩二(愛媛G)
 〈優勝者3年間シード〉池上憲士郎(2010優勝者)、※原 敏之(2011優勝者)
 〈前年度四国ジュニア〉石徳俊樹、釜須雄基、香川奈鷹〈西日本パブリックアマ四国地区決勝大会より〉※亀代順哉

四国アマチュアゴルフ選手権競技二次予選(県アマ決勝)

- 〈西日本パブリックアマ四国地区決勝大会より〉多田知広(香川県アマ決勝へ)、石徳俊樹(香川県アマ決勝へ)

四国シニアゴルフ選手権競技

- 〈徳島県〉千原喜清(鳴門C)、中西秀樹(阿南C)、岡 耕司(グランディ鳴門G)、坂野明宏(JクラシックG)、檜尾一輝(西徳島G)、
 後藤秀男(四国C)、楠本正志(レオマ高原G)、高橋 剣(四国C)、一ノ宮恵敬(阿南C)、尾崎幸夫(JクラシックG)
 〈高知県〉井上幸伸(土佐ユートピアC)、宮岡勝久(高南C)、池 正興(パシフィックG)、堅田英信(錦山C)、永野益教(黒潮C)、
 上田 弘(グリーンフィールドG)、坂井淳一(土佐ユートピアC)、中島博隆(黒潮C)
 〈香川県〉久保田剛司(坂出C)、唐津正二(高松C)、丸本文昭、森田俊治、谷口幸司(以上琴平C)、香川哲廣(こんびらレイクG)、
 秋山敏雄(満濃ヒルズC)、佐藤良晴(ロイヤル高松C)、楠橋高幸(高松グランドC)
 〈愛媛県〉羽藤悟志(新伊予G)、竹田秀策(今治C)、中尾幸男(宇和島C)、崎山俊紀、井手 功(以上今治C)、白 守龍(松山G)、
 浅海憲雅(サンセットヒルズC)、御手洗成人(今治C)、原田 学(松山シーサイドC)、越智勇次(西条G)、弓達秀待(久万C)

四国女子アマチュアゴルフ選手権競技

- 〈前年度四国女子アマ〉※森田 遥、鴻上ほの花、※丹 萌乃
 〈前年度四国ジュニア〉濱 美咲、田所茉莉香、※森田 遥、※丹 萌乃

四国ミッドシニアゴルフ選手権競技

- 村上 顕(松山G)、平田静夫(詫間C)、真井純一(御所C)、四宮陽一(高松グランドC)、田中昭男(高松C)

四国グランドシニアゴルフ選手権競技

- 黒河 清(新居浜C)、白鳥英二(JクラシックG)、鴨井康彦(エリエールG)、堀川昌俊(鮎滝C)、藤岡一助(土佐C)

四国ミッドアマチュアゴルフ選手権競技

- 〈徳島県〉尾崎竜二(阿南C)、谷口國博(鳴門C)、岡 繁幸(徳島C)、奥山慎一郎(鳴門C)、三好 猛(レオマ高原G)、赤木和彦(東徳島G)、
 田村 稔(阿南C)
 〈高知県〉吉村祐介(土佐C)、松山慶三(高知G)、岡本和彦(四万十C)、竹村厚彦(Kochi黒潮C)、佐竹将吾(高南C)、島内武史(高知G)、
 池 正興(パシフィックG)、今井忠雄(高知G)、岡村 龍(土佐ユートピアC)
 〈香川県〉小峰尚宏(志度C)、平井賢治(屋島C)
 〈愛媛県〉村上 敦(サンセットヒルズC)、続木 仁(新居浜C)、羽藤悟志(新伊予G)、森内信隆(松山シーサイドC)、福岡浩二(愛媛G)、
 小川貴大(サンセットヒルズC)、小澤 貢(今治C)、崎山俊紀(今治C)、岡崎浩平(宇和島C)、矢野俊幸(新居浜C)、
 八板 譲(松山国際G)、瀧田大護(新伊予G)、達川安孝(今治C)、山本嘉津志(松山シーサイドC)
 〈その他〉2012年度四国アマ30位までの者

※は、重複選手。

第60回四国グランドシニア会秋季競技 =新居浜カントリー倶楽部で開催(10/27)= 千葉さん(こんぴらLG)、選手権の部は小野さん(こんぴらLG)がアベック優勝

四国ゴルフ連盟の加盟倶楽部会員 (男70歳・女60歳以上、会員数176名) の有志で組織する「四国グランドシニア会」の第60回秋季ゴルフ競技が平成23年10月27日、新居浜カントリー倶楽部 (愛媛県) で68名が参加して開催された。アンダーハンディキャップの部で千葉宗和さん、選手権の部 (秋季のみ開催) で小野忠夫さん (いずれもこんぴらLG所属) が優勝。

千葉さんは初優勝。小野さんは選手権の部で3回目の優勝を飾った。なお小野さんは今回から設けられた80歳以上のベスグロも当然獲得。84歳の元気な姿が、一同を勇気付けた。



千葉宗和さん

第60回四国グランドシニア会秋季競技
(Par72 男子 : 5,545yd 女子 : 5,471yd)

順位	氏名	所属	NET	GRSS
優勝	千葉 宗和	こんぴらLG	64	84
2	崔 斗星	滝の宮C	66	82
3	高橋 光良	西条G	66	82
4	長岡 耕作	こんぴらLG	67	79
5	内田 勝久	ロイヤル高松C	67	76
6	上原 尚真	こんぴらLG	68	84
7	真鍋 彦介	エリエールG	68	81
8	続木 康泰	新居浜C	68	78
9	森末 元光	こんぴらLG	68	86
10	高山 昌太	愛媛G	69	84

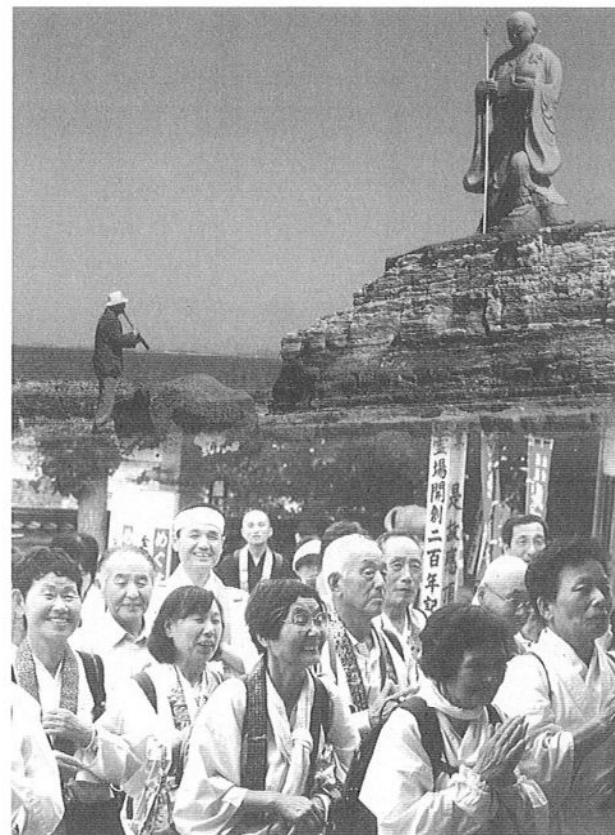
順位	氏名	所属	NET	GRSS
11	猪瀬 和男	西条G	69	82
12	朝野 敏治	高知G	69	79
13	岩崎 敬子	高松ゴールドG	69	88
14	小野 忠夫	こんぴらLG	70	74
15	真木 清臣	新居浜C	70	79

【選手権の部】

優勝	小野 忠夫	こんぴらLG	74	(37 37)
2	青野 章	滝の宮C	75	(36 39)
3	内田 勝久	ロイヤル高松C	76	(38 38)

シリーズ お四国随想 No.40 =各地の八十八ヶ所=

八十八ヶ所はまだ全国各地にある。福岡県篠栗、つまり福岡から飯塚に抜ける国道の笹栗峠にも小さいが八十八ヶ所になっている。これは全国の新四国霊場としては三大霊場の一つで、1736年以前の開創だろうと言われている。三大霊場とは先の小豆島とこの篠栗と知多半島にあるもので、この三ヶ所が本当の写しだと考えられている。本番が一番近いのは小豆島で全長約150キロ、篠栗が40キロ、知多半島が160キロある。知多半島の新四国は新しく1824年の開創で、この地方には昔から女性を中心に大師信仰があり、それを中心に広がったものと思われる。結願寺は尾張高野山と呼ばれる名古屋の八事山興正寺という真言宗の寺がそうである。また高知県本川村地蔵堂の鰐口に「文明3年(1471年)3月1日村所八十八ヶ所」の銘が在るところよりみて15世紀にはこの地方に新四国があったと考えられている。こうして見ると三大霊場と言われる小豆島、篠栗、知多半島よりも古いものが何処かにあるのではないだろうか。日本には昔から来訪神(タイシ)信仰があり、これが太子講や太子送り、接待に定着し、タイシも弘法大師に移って行ったのではないとも言われている。本来タイシは太子で神様の長子のごことで、どこの土地にもこの信仰があった。東北地方には八十八ヶ所はないが地蔵巡礼や観音巡礼は存在し、この観音巡礼は全国的な規模で存在し、北は北海道から南は鹿児島まである。各地の新四国を挙げれば20ヶ所くらいは在るようだ。またこの他にも池や小さな山の周囲を廻るような八十八ヶ所は各地にある。それがほとんど新四国と結び付けられている。また、観音巡礼にいたっては全国に100ヶ所以上はあると言われている。世界中にある巡礼も日本の巡礼とはぜんぜん違うものであるが、聖地を廻ることについては同じである。また前にも触れたがキリスト教にもまたイスラム教にも巡礼は存在し、特にイスラムではハッジというメッカ巡礼はイスラム教徒には義務付けられたもので、コーランにも書いてある。これも簡単に触れたがキリスト教もサンチャゴ・デ・コンポステーラといって聖ヤコブに会うためにスペイン北西部のサンチャゴ参りをする有名な巡礼がある。ここではホタテ貝と瓢箪と杖が巡礼のシンボルとなっていて、道標も帆立貝で、それを辿ってゆけば目的地に着ける。どこか八十八ヶ所遍路と似ているようだ。以上は中山和久氏の本が出典である。また、NHKが取材して放送している。フランスでも一ヶ所あり、サン・ジャックへの道という映画があった。またチベットには有名な五体投地をしながらの巡礼まである。これには随分と時間が掛かるだろうが、チベット仏教の信仰の深さを示している。(手島 皓一)



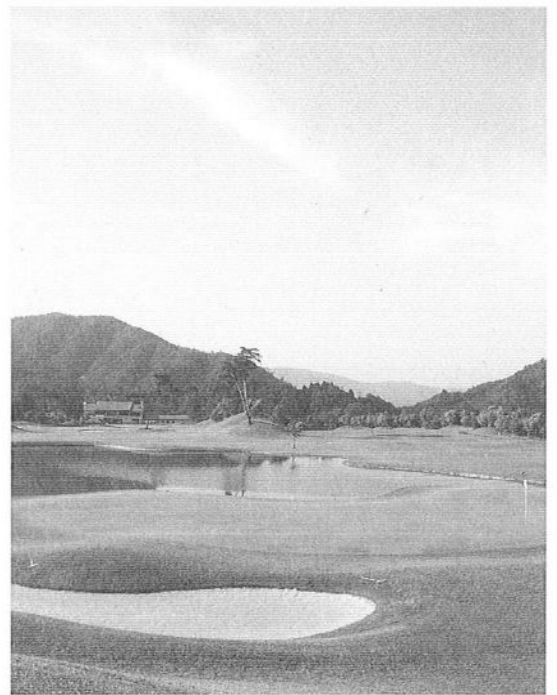
知多半島の新四国

シリーズ 倶楽部コースのご紹介

その48

1993年に開場のレオマ高原ゴルフ倶楽部は、全国に128ゴルフ場(18ホール換算155.5コース)を運営保有するパシフィックゴルフマネージメント株式会社のゴルフ場となります。

レオマ高原ゴルフ倶楽部



〒779-5301 徳島県三好市山城町大和川652
TEL 0883-86-2900 FAX 0883-86-3188

当クラブは、四国四県のほぼ中央に位置しており、近くには大歩危・小歩危、かずら橋など観光名所もあり、ゴルフ旅行でも最適です。最寄のICは井川池田ICがあり、ICからゴルフ場まで約12kmとなっております。ICをおり最初の信号を左折すると32号線高知方面へ、あとは看板に従い山道の進入路をのぼりつめていくと広々としたコースが姿を現わします。

コースは丘陵コースとなっており、雄大な自然と見事に調和したコース造型美は四季折々の風情も味方。打ち下ろし、谷越え、池越え、広いグリーンをはじめ、フラットなフェアウェイに起伏を加え、高原ならではの開放感が溢れるゴルフが満喫できます。

OUT・INコースともスタートはロングホールから始まりますが、フェアウェイは広く、一番から思い通りの良いスタートが切れます。グリーンは、サンド・ベントのワングリーンを採用しグリーンの大きさは平均1000平米。ピン位置によっては使用クラブが3番手も変わってくるのでグリーンを狙うショットは注意を要します。名物ホールの9番ホールはやや打ち下ろしのミドル。セカンド地点に大きな池が広がるので方向性と距離感が大事になります。

クラブハウスも男女浴室内にサウナ設備も設置してあり、プレー終了後もゆったりとした時間を満喫できます。

最後になりましたが、PGMグループは「Love Life, Love Golf, ゴルフはもっと素晴らしい」を理念とする質の高いメンバーライフをめざして生まれたメンバー様向け特典プログラム「P-CAP」(優待制度)など、日本全国に128ゴルフ場を展開するPGMのスケールメリットを活かした運営を行っております。

今後今まで以上のサービス向上を目指して参りますので、皆様の変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

支配人 山岡 健二

ギヤラリー席

〈大叩きの悲しみ〉

パー4の所を10以上でも叩けば誰でもクラブをへし折りたくなります。これはアマだけでなく、ゴルフが職業のプロではまさに悲劇のどん底でしょう。御存知のマスターズ競技では毎年過去の色んな記録が一覧される小さな緑色の表紙の本を売っています。その中に(ビリーブ・イット・オア・ノット)信じようが、信じまいが、と書いた1章があります。内容には中島常幸とトム・ワイスコフの1ホール13という記録が記載されてあります。1978年、中島は当時新進気鋭、75年にプロ転向依頼77年に日本プロを含めて三勝をあげ、正にマスターズ何するもの、という気概でアメリカに渡り、「俺の飛距離だったらパー5は全て2オンでイーグルかバーディーだ、後は全てパーさえ取れば優勝だ」と豪語して優勝を狙っていました。一日目は8番パー5でイーグル、15番でバーディーはあるもののボギー7個、ダブルボギー2個となんと80と全く不本意なスコアでした。2日目のアウトはイーブン、インに入り12番でボギー、次の13番で13を叩き、優勝どころか予選も通過できなかったのです。トム・ワイスコフはあの頃、PGAでは一番の飛距離を誇っていたのですが、12番のショートホールで13を叩いています。この二人がマスターズの大叩きの両横綱でしょう。

〈事務局からのお知らせ〉

◆加盟倶楽部の入場者数(平成23年度) 対前年度3.1%減

四国ゴルフ連盟加盟60倶楽部の平成23年度年間入場者総数は2,247,440人で、対前年度72,231人の減少(△3.1%)となりました。年度前半は東日本大震災の影響でゴルフコンペの自粛ムードが広がり、大きく落ち込みましたが、後半に持ち直し、約3%の減に止まったというのが実情です。今年の各倶楽部の繁栄を期待しています。

◆ジュニア育成の強化

JGAではナショナルチームにつながる地区強化選手制度を構想しています。そこで四国地区における強化選手の選抜のあり方について、今年から、ジュニア委員会に発掘育成部会を設け、検討していくことにしています。併せて、新規のジュニア大会を立ち上げ、ジュニアの育成強化に積極的に取り組んでいきたいと考えています。各倶楽部のご協力をお願いします。

◆グランドシニア会春季大会のお知らせ

標記大会を5月30日(水)坂出カントリークラブで開催します。ふるってご参加ください。